



特定非営利活動法人 SEIN

2012年度 事業計画書

期間：2012年4月1日 ～ 2013年3月31日

1. 2012 年度事業計画

I. 事業期間

2012 年 4 月 1 日～ 2013 年 3 月 31 日

II. 2012 年度 特定非営利活動に係る事業計画

①2010 年度～2012 年度の中期目標

- ◆「地域の課題解決、理想実現」に向けて、様々な団体や人と協力、連携しながら、事業を展開していける土壌を作っていきます。そのために、2010 年、2011 年は、地域の課題、そしてどういった NPO 法人があるのか、きちんと把握し、情報発信していきます。2012 年には、地域の課題解決に対してコーディネートしていくことができる中間支援組織となりたいです。また、把握する中で、市民活動支援事業と、カフェ運営事業、情報発信事業の連携を意識し、SEIN 自体の自主財源率を上げます。また、この 3 つの事業の連携を生かし、地域の課題解決をし、自立した活動をめざしている団体を応援する仕組みをつくりまします。
- ◆ 情報開示をし、組織をよりオープンにすることで、ボランティアに関わる人が増える、寄附や会費収入が増えるなどの結果を生み、情報開示の必要性などを伝えていくことができるよう取り組みます。そのために、2010 年、2011 年は、①SEIN のホームページの充実 ②さかい Com*Com による SEIN のページの充実 ③ブログを使ったタイムリーな情報発信 ④独自のメールマガジンの発行 ⑤canpan への団体情報登録を積極的に行ない、2012 年には、情報開示によって得た成果（資源）を見える化していきたいです。

②事業計画の重点テーマ

- (1) 堺市内の NPO の社会的信頼を高めるための基礎データを市民活動支援事業で作成し、それを元に、コミュニティカフェ運営事業又は、情報発信事業を通して、発信していきます。
基礎データを元に、これからの市民活動支援のあり方について、協議する場に参加し、地域や社会課題に対してコーディネートしていける中間支援組織の基礎をつくりまします。
- (2) 「もっと身近に NPO」へむけて、NPO の情報発信について最低限の基盤整備が行えており、かつ団体の情報発信の負担軽減を図るサービスを、市民活動団体の現場調査結果から判明するニーズも考慮して構築します。また、NPO の情報発信を促進する事業を支えるためにも、SEIN の情報発信事業が収入の柱となるぐらいの収益が見込めるよう取り組みます。
- (3) Community cafe Pangea は、他団体の会議等の場の提供を行います。そして、市校区についての地域ニーズも調べ、他の NPO やボランティア団体と協働で、「子育て支援」の分野にも広がります。
※「子育て支援」の分野に広げる理由として、SEIN は場所の提供を行い、子育ての専門分野の NPO さんと必ず協働で行うことを前提とし、①少子高齢化がどこの地域でも課題であること、②地域とのつながりが必要になるのは子育て世代であること、③老若男女問わず、ボランティアグループや個人に参加・協力してもらう機会が増えること、④子育てが一段落ついた人が NPO へ関わり始めることが多いことから、市民社会の人材の担い手として考えられること、⑤場所を探している子育てサークルが多いこと、以上 5 つの視点から、コミュニティカフェで取り組んでいくテーマとして取り上げます

(4) ボランティア募集やNPO 同士の協働などを積極的に行い、人や組織を巻き込む・一緒につくりあげていくという事例を3つつくります。

そして、会費や寄付等の安定した収入源の確保に力を入れます。

(5) SEIN スタッフやボランティアスタッフが参加できる内部研修を行い、地域に貢献できる人材育成に取り組みます。

II 事業の実施に関する事項

1 2012年度の体制について

役員	理事	5名	湯川・大野・小野・阪野・西上
	監事	1名	米田

SEIN 常勤スタッフ	湯川・宝楽（事務局長）・金田
-------------	----------------

事業ごとの従事者

1. 市民活動支援事業 (1) SEIN の NPO 支援センター運営事業	2名	◎湯川、宝楽
(2) 堺市市民活動コーナー	8名	◎宝楽、阪野、弘中、前田、田中、楠井、中井、湯川
2. コミュニティカフェ運営事業	4名	◎金田、渡辺、西尾、湯川 サポートスタッフ：6名
3. 情報発信支援事業	2名	◎宝楽 協力専門家：1名、サポートスタッフ：5名
4. 参加型話し合いの場運営事業	2名	◎宝楽、湯川
5. 事務局支援事業	3名	◎湯川、宝楽、弘中
6. 調査研究及び政策提言	3名	◎湯川、小野、宝楽

◎…各事業の担当責任者

2 特定非営利活動に係る事業 <◎事業ごとの重点的に取り組むこと>

1. 市民活動支援事業

事業名	市民活動支援事業 (1) SEIN の NPO 支援センター運営事業 ①NPO の社会的信頼をつくる ②SEIN のボランティアやインターンシップの受入 (2) 堺市市民活動コーナーの運営事業 ①堺市市民活動コーナーと堺市市民活動サポートセンター統合に向けた取組
事業目的	市民が自主的・自発的に行う活動を「ネットワークづくり」「運営・設立相談」「運営に役立つ情報提供」「NPO を担う人材育成」によって支援する。

(1) SEIN の NPO 支援センター運営事業

①NPO の社会的信頼をつくる	
実施内容	玉石混交状態にある NPO 法人の中で、よい動きをしている NPO 法人が評価され、市民も安心して関わりがもてる環境整備を行うための基礎データを作ります。そして、NPO の底上げにつなげます。
実施時期	通年
2012 年度の目標	1. 9 年間の集大成として、市民活動団体の基礎データとしてまとめます。 2. NPO 法人の調査も実施し、よい動きをしている NPO を把握し、「堺市内の NPO こんなことができますリスト」の第 2 弾を発行します。

②SEIN のボランティアやインターンシップの受入	
実施内容	ボランティアやインターンシップに来てくださる方には、登録シートを記入してもらい、来てくださった方のやりたいことに基づいて、お互いが成長しあうプログラムを作成、提供し、ふりかえりを大切にします。
実施時期	ボランティアの受け入れ ⇒ 通年
2012 年度の目標	1. 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会のインターンシップ制度を通して、2 名のインターン生の受け入れをめざします。 2. 随時、インターンやボランティアの受け入れを積極的に行います。

(2) 堺市市民活動コーナーの運営事業

①堺市市民活動コーナーと堺市市民活動サポートセンター統合にむけた取り組み	
実施内容	三者（堺市市民協働課・堺市社会福祉協議会・NPO 法人 SEIN）と協議しながら、ハードの支援とソフトの支援が統合し、より“市民活動支援”を充実させたセンターづくりを行います。
実施時期	通年
2012 年度の目標	1. 今年度は、堺市市民活動コーナーの契約が最終年を迎えるにあたり、平成

標	<p>25 年度以降も充実したセンターとなるように、ソフトの検討に積極的に参加します。</p> <p>2. 他市の事例等も集め、よりここで NPO 側にとって必要な意見が伝えられるような状況を作ります。</p>
---	---

※通常業務に関しては、別記① ⇒ P.9 へ

2. コミュニティカフェ運営事業

事業名	<p>コミュニティカフェ運営事業</p> <p>①パンゲアカレッジを定例的に行っていく</p> <p>②ランチにともない、ひよっこり井戸端プロジェクトに取り組む</p>
事業目的	<p>人材不足である NPO の担い手として、また将来、社会を創る担い手としての“若者”に、社会問題・地域課題（特に NPO・NGO や市民活動団体などが取り組む）を知る機会を提供することで、若者の社会参加を促し、自立・持続した活動をめざす NPO や NGO と若者力をつなげていく、気軽な入口としてコミュニティカフェを運営する。</p>

①パンゲアカレッジを定例的に行っていく

実施内容	<p>【パンゲアカレッジ】</p> <p>“パンゲア”というハコを通じて、出会った方たちに、時には先生！？に、時には、生徒！？に、なっただきながら、学びたい！知りたい！やってみたい！をカタチにしていきます。楽しい！体験！気づき！つながり！を大切に、もっともっと“さかい”がおもしろい！と思ってもらえるきっかけを出会った方たちと、コラボでつくっていきます。</p>
実施時期	通年
2012 年度の目標	<p>1. 2ヶ月に1回は実施し、一緒にパンゲアカレッジの内容を考えてもらえる仲間を作ります。</p> <p>2. 人材バンクをつくり、パンゲアに来るお客さんや市校区の方たちの情報をためていく仕組みをつくりまます。</p>

②ひよっこり井戸端プロジェクトに取り組む

実施内容	<p>パンゲアの中にある倉庫を活用し、①「親子で一緒に楽しむ」-子どもの成長を楽しむことができる場、②「子どもこそ未来」-親子が地域とつながる場、③「食を楽しむ」-食を大切に作る場、という3つの場となることをめざします。そのために、親子でひよっこりと気軽に来てもらえる雰囲気づくりに向けて、ひよっこり井戸端プロジェクトに取り組まます。</p>
実施時期	通年
2012 年度の目標	<p>1. 倉庫の改装を行うための寄付集めを行い、下半期の改装をめざします。</p> <p>2. 市校区について、公共的な施設や子ども向けの活動を調べ、ニーズを把握し、パンゲアだからできる必要なサービスを模索します。</p>

3. 親子向けのイベントも定期的に行い、周知徹底をします。

※通常業務に関しては、別記②⇒ P.10へ

3. 市民活動団体に関する情報発信支援事業

事業名	市民活動団体に関する情報発信支援事業 ①ブログガイドボランティア育成によるフォロー体制の構築 ②地域・テーマ型公益ポータル推進プロジェクト ③情報発信事業を収入の柱とする基礎をつくる
事業目的	NPO や市民活動団体の情報が一箇所で見つけられるポータルサイト(玄関)となるサイト設立や、NPO や市民活動団体の情報発信を通して、 ①堺においてNPO 同士の協働を促し、 ②NPO や市民活動団体が社会から支援を受けやすくし、 社会からの信頼性を高めるため

①ブログガイドボランティア育成によるフォロー体制の構築	
実施内容	1. 情報発信の技術を学ぶ講座とブロガーの育成体制の仕組みを作ります。 ブログ講座はニーズの高い講座で事業化の可能性も高く、一方で講座受講生が継続的に情報発信するために、ぶろぐカフェのようにフォローアップし技術向上・情報交換の「場」を開催します。 また、南区中心に育成してきた経験を活かし、堺区や北区などでも市民ブロガーを養成します。 2. 情報流通促進ボランティアによる情報発信支援 市民活動分野において人材不足により後手に回りがちな情報発信支援を、市民ブロガーの協力を得て支援を行う。また、イベント開催時にも取材に数名で参加し、記録作成の支援モデルを形成することをめざします。 3. NPO の情報発信リテラシーの育成 支援者の養成だけでなく、NPO の情報発信力向上を促進する講座も開催し、情報発信を総合的に向上する場を構築します。
実施時期	ぶろぐカフェ 4月より継続開催中
2012 年度の目標	1. 情報流通促進の育成機会をもちます。 2. 堺市内の NPO の情報発信支援 (5 団体) を行います。 3. 以上を通して、情報発信分野における協働の仕組みを構築します。

②地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクト	
実施内容	1. HP の存在しない団体の情報を、一つの信頼できる情報ページとして作成し、全ての NPO が見える化できる体制を構築します。 2. 団体情報を、各々の情報発信度合いに合わせて、資金的・資源的に情報発信できない団体のニーズに合わせたサービスを展開します。

	3. 市民のボランティアへのニーズをマッチングできる仕組みを基に、企業の CSR 活動への情報提供を担えるサービスの構築をめざし、持続的に運営できるモデルを確立します。
2012 年度の目標	1. 市民と行政／企業と NPO をつなぐデータベースの基盤整備を行います。 2. 同時に NPO の情報発信を行うハードルを下げる基盤整備を行います。

③情報発信事業を収入の柱とする基礎をつくる	
実施内容	1. 情報発信事業の継続的な事業化へ向けての方針を立てます。 2. 情報発信事業の支援内容・実績を HP やチラシ等の広報活動を積極的に行いません。
実施時期	6月より
2012 年度の目標	1. 情報発信事業単体で、事業が成り立つ形態の完成をめざします。 2. NPO のニーズ・現状に合わせた HP の価格を設定し、さまざまな団体の情報発信を底上げします。

※通常業務に関しては、別記① ⇒ P.10 へ

4. 参加型の話し合いの場の企画・運営事業

事業名	参加型の話し合いの場の企画・運営事業 ①参加者同士で聴き合う関係（ネットワークづくり）ができる講座内容を充実
事業目的	ラウンドテーブル＝課題の共有と情報交換の場として、立場の違う人が集まり、情報交換を行い、参加者自身が仲間や、繋がりたい団体を連れてきたくなるような場を提供し、市民活動団体同士の自発的な協働を促進するため

①参加者同士で聴き合う関係（ネットワークづくり）ができる講座内容を充実	
実施内容	1. 「聴きあう関係づくり」をめざした、コミュニケーションの普及をめざして、人や街が元気になる講座の実施を行います。 2. 積極的に外部講師の派遣依頼を受け、講師派遣の値段設定や基準作りを行っていきます。
実施時期	通年
2012 年度の目標	1. 主催事業として、月 1 回、人やまちが元気になるファシリテーターカフェをパングアで実施し、ファシリテーターを 5 人育てます。 2. 秋に、中間支援組織のスタッフ研修向けのファシリテーター研修を実施します。 (協働相手：ちょんせいこさん)

5. 市民活動団体の事務局支援事業

事業名	市民活動団体の事務局支援事業 ①事務局員を雇用できないNPOへのシェア事務局員派遣モデルの検討
事業目的	NPO自体の事務局を担う人材不足を支援することで、NPOの円滑な運営に協力し、より活発なNPO活動を促進するため。

①事務局員を雇用できないNPOへのシェア事務局員派遣モデルの検討	
実施内容	<p>NPO自体の事務局を担う人材不足を支援することで、NPOの円滑な運営に協力し、より活発なNPO活動を促進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パソコンスキルについての課題が多かったため、それを解決するために派遣できる人材の育成プログラム研修（NPOについての基礎知識&そのためのパソコンスキル）をつくります。 2. 会計に関しての相談も多いことから税理士に相談対応する前の会計お助け隊をつくります。（税理士上田先生と協働で行う） 3. NPOの事務局能力の底上げを狙った事務局検定（※）の準備を行います。 （※）NPO自身が、組織の運営を自ら行い、かつNPOを支援する人材の育成をめざした研修と検定のしくみ。
実施時期	2012年8月～
2012年度の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. パソコンスキルを持ったボランティアに行ける人材を5名育てます。 2. 会計・事務処理ボランティア（お助け隊）を3名育て、年度末の会計相談が多い時期に活用します。 3. NPO自体の事務局を担う人材不足を支援することで、NPOの円滑な運営に協力し、より活発なNPO活動の促進をめざします。

6. 市民活動団体とその活動に関する調査研究および政策提言に係る事業

事業名	市民活動団体とその活動に関する調査研究および政策提言に係る事業 ①年度内に、「堺市内のNPO白書」を発行する。
事業目的	堺市内のNPOや市民活動団体の現状を正確に把握し、社会に発信、提言していくことで、NPOや市民活動団体が自立した活動がしやすくなる環境整備を行うため。

①堺市内のNPO白書を発行。	
実施内容	堺市内のNPO法人に関しての、NPO白書を発行し、行政や企業又は、同じ民間同士で、どのような実態かがわかるものを作成します。
実施時期	2013年3月発行
2012年度の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. データベースの作成を通して、知り得た情報を客観的に知る事ができる白書を作成し、堺市内のNPOの現状を広め、支援者拡大をめざします。 2. まちづくり協議会の動向にも注目します。（特にNPOの参画について）

7. その他

【内部への取り組みとして】

①SEIN を支えていただいている会員さんとのコミュニケーション！！の取り組み	
実施内容	1. 毎月 10 日配信するメールマガジンを継続します。 2. 会報（3ヶ月に1回）を発行し、会費・寄付収入の財源を増やす努力をします。
実施時期	通年
2012年度の目標	1. 現在、登録して下さっている会員さんには、継続して情報公開を行います。 2. 新規の会員または寄付を増やすためのツール（会報誌等）や仕組みを作ります。

②SEIN スタッフの内部研修	
実施内容	NPO の人材育成をめざして、 （1）コミュニケーショントレーニング （2）真・報連相研修 （3）ファシリテーター研修 などを行います。
実施時期	通年
2012年度の目標	1. スタッフ研修を行い、事業間を越えたスタッフ同士のつながりを作ります。 2. SEIN の理念を共有する場をつくり、みんなが理念にそった考えができる組織づくりをめざします。

③理事会での話し合い	
実施内容	理事会にて、2012年度は下記の話し合いをします。 ①堺市市民活動コーナーの継続について ②中間支援組織としての SEIN のあり方について ③他 NPO を巻き込む仕組みづくりについて
実施時期	2ヶ月に1回開催

（別記①）堺市市民活動コーナー

□施設概要

堺市堺区南瓦町 3 番 1 号

電 話:072-228-8348 FAX:072-228-8352

開館時間:平日 9:00～19:00 土・日 10:00～17:00

休 館 日:祝日及び年末年始

□事業内容

市民活動関連情報提供・市民活動コーナーの施設維持等・市民活動に係る情報の収集及び提供・市民活動に係る相談(一般相談・各種専門家相談・NPO ミニ講座の開催)・市民活動に係る交流促進

□組織体制(2012.4.01 現在)

常勤職員:1名、非常勤職員:6名

(別記②) コミュニティカフェパンゲア

施設概要

堺市堺区戎島町5丁9番

電話:072-222-0024 FAX:072-242-7094

営業時間:平日12:00~22:00 土12:00~23:00 日12:00~20:00

定休日:毎週月曜日・年末年始

事業内容

お家ごはん風カフェの運営、2階ギャラリー貸し出し、イベントの箱貸し及び企画運営

組織体制(2012.4.1現在)

常勤スタッフ:1名、アルバイトスタッフ:4名、サポートスタッフ:6名

(別記③) 情報発信事業

【1】NPOの顔が見える市民活動情報検索サイト さかいCom*Com運営

①さかいCom*Com運営

サイト概要

【アドレス】 <http://sakai-comcom.net/>

【コンテンツ】①市民活動情報検索(登録団体:33団体)

②市民活動・NPOブログ

③堺人ブログ[ブログ講座受講生「さかいCom*Comブロガー」](117ブログ)

④堺の天気・ニュース

⑤市民活動・NPOブログランキング

⑥Com*Comパートナーバナー(1団体)

事業内容

市民活動ポータルサイト「さかいCom*Com運営」、相談対応、普及・啓発講座実施

組織体制(2012.4.1現在)

スタッフ:1人、協力専門家:2人、サポートスタッフ:5名

②講座の開催

事業内容

ブログ講座・プライベートレッスン(ブログの使い方・PC操作方法)等の講座運営・企画

組織体制(2012.4.1現在)

スタッフ:1人

【2】情報発信媒体作成支援

事業内容

チラシ作成から入稿までのお手伝い。HP作成・企画のお手伝い

組織体制(2012.4.1現在)

スタッフ:1人 協力専門家:2人